

# 幼児教育支援センター運営事業

## 学びの改革支援課

### 1 目的

全ての就学前児童に対して質の高い幼児教育を提供し、主体的に学び続ける信州人の基盤をつくる。

### 2 幼児教育に係る課題

#### (1) 保育者の資質能力の向上

- ・ 遊びを中心とした保育の本質について理解し、実践する力の育成が必要
- ・ 園種や公私を越えて共通する課題や、それぞれの現場のニーズに応じた研修の充実が必要

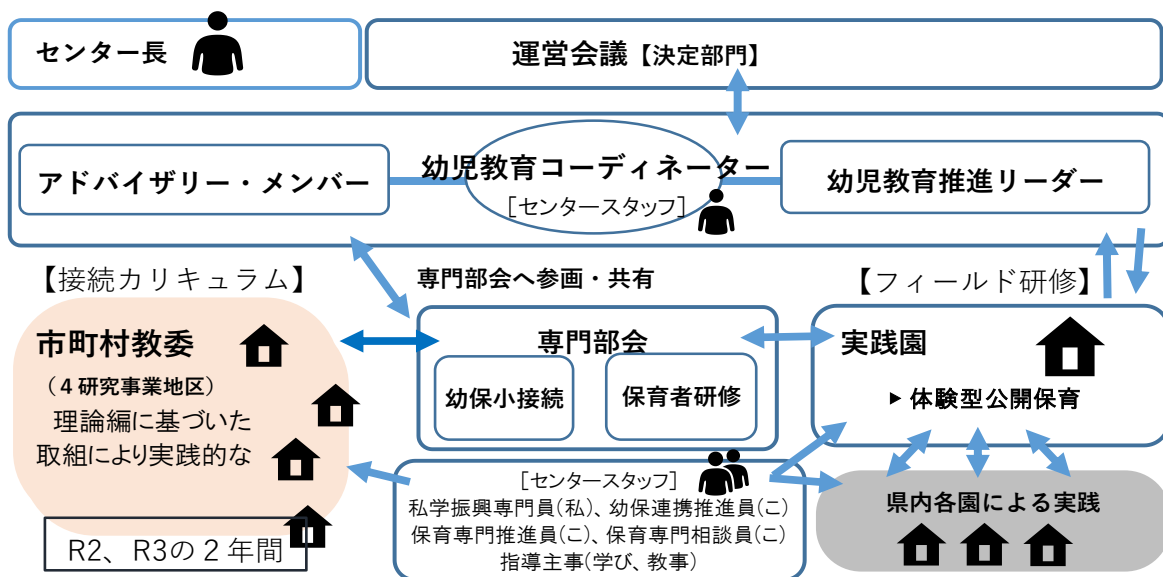
#### (2) 幼保小の接続・連続性の確保

- ・ 幼児教育における遊びで培った主体性を、小学校での学びに十分生かせるよう、両者の連続性が重要

### 3 信州幼児教育支援センターの主な取組

| 取組の概要                           |            | R1                             | R2                                      |
|---------------------------------|------------|--------------------------------|---|
| 資<br>質<br>保<br>育<br>者<br>の<br>上 | 研修の体系化     | スリムでキャリアアップ効果の高い研修体系を普及        | 保育者育成指標の策定<br>指標に基づき研修を整理<br>自己評価指標等の作成 |
|                                 | フィールド研修    | 実践園(7園を指定)において、体験型公開保育による研修を実施 | 7園での実践<br>7園での実践                        |
|                                 | 新規採用教員研修   | 教特法に基づく研修により保育者としての資質・能力を育成    |   |
|                                 | 中央協議会参加    | 他都道府県の研究成果の発表と意見交換             |   |
| 学<br>び<br>の<br>接<br>続           | 接続カリキュラム普及 | 幼児期の育ちを小学校の学びに生かすカリキュラムを策定     | 「理論編」作成<br>「実践編」開発(委託)                  |
|                                 | 育ちを繋ぐ手法の普及 | 子どもの育ちを発信する「ラーニングストーリー」の手引きを作成 | 手引きの作成・配布                               |

### 4 信州幼児教育支援センターの組織と役割



### 5 令和2年度予算額

574万6千円